

中郷区地域協議会だより

第70号(令和7年度第3号)



発行日：令和8年3月25日
 発行：中郷区地域協議会
 編集：地域協議会だより
 編集委員会
 (中郷区総合事務所)
 電話：0255-74-2411

「活動報告会」に多くのご来場をいただき、ありがとうございました。



3月7日㊥、はーとぴあ中郷 研修室で「令和7年度 中郷区地域協議会 活動報告会」を開催しました。中郷区内外から多くの方にご来場いただき、私たちが1年間考えてきたことや取組を説明し、中郷区の様々な課題の解消に向けた考え方やこれから地域全体で何かを始めていかなければという思いを共有することができました。

キーワードは

「子」「帰」「誇」

持続可能な中郷区の創り方

令和7年7月28日審議開始

「い～住プロジェクト」

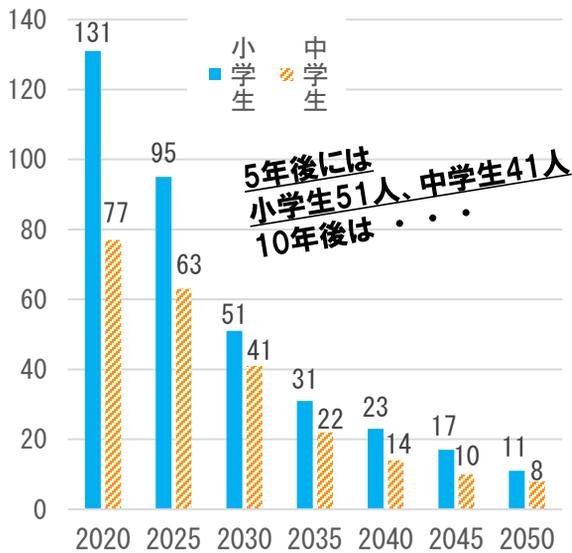
～ 子どもたちがいる未来を！みんなで始める“まちづくり”～

何もしなければ子どもも人口も減少し続けます。新たに協議を始めた「い～住プロジェクト」を説明しました。

重点取組 3本柱	目的	令和8年度に取組む内容
柱① 子 どもが育ち、 “大好き”が続く 地域づくり	子どもを地域づくりの中心に据え、「大好き」と思える中郷区を次世代へ継承する取組。 少子化が進む今、学校を地域全体で支え、子どもの学びと成長を守る体制を住民一人ひとりの関わりで築いていく。	若者ヒアリング（何に困ってる？どんな場が欲しい？）
		「い～場所」「こ食解消事業」の継続
		旧岡沢小、旧片貝小・はーとぴあ中郷、総合体育館の活用検討
柱② 帰 ってこれる 地域づくり ～一人ひとりに役割 (出番)がある中郷～	中郷区を離れた人が「いつでも戻れる地域」を目指し、住まい・仕事・役割づくりを通じて人と地域を結び取組。 中郷の自然や文化、人の魅力を生かし、暮らす人・戻ってくる人・新たな定住者が関われる場を整える。	空き家・空き地の情報収集
		移住者（U/Iターン者）ヒアリング
		区内、近隣地域求人情報の集約
柱③ 集い、楽しみ、 誇 れる 地域づくり	趣味・スポーツ・食・イベントによる交流を広げ、集い楽しめる機会を増やすことで地域の活気と誇りを育む取組。 「中郷は良いところ」と実感できる日常を積み重ね、魅力ある地域環境をつくる。	食のアンケート（季節×食材）
		情報発信ツール（HP・SNS・LINE）の統合と仕組みづくり
		情報発信ツール（HP・SNS・LINE）の統合と仕組みづくり

「い～住プロジェクト」のつづき

小・中学生人口の将来予測



参加者の反応や意見など (意見交換会、参加者アンケートから)

- ・「中郷の未来のためのプロジェクト、良い方向に進んでほしい」
- ・「先行き不安に思っている点に方向性を示してくれて感謝」
- ・「移住者の増加も大切だが、中郷からの転出を防ぐ対策はないか」
- ・「地域の魅力発信がもっとも必要」
- ・「いろいろなヒアリングやアイデアが大事」
- ・「『遊びの王国 なかごう』の看板を見たことがある。中郷の良さをもっと発信できたら、『住みたい・観光したい』が増えると思う」
- ・「子どもと高齢者向け対策は十分。働き盛り世代が引っ越す要因への対応も検討を」
- ・「区外の人たちにも知ってもらうことで、さらにプロジェクトを進めるパワーが生まれる」

令和4年7月26日審議開始 「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿について」

■ コミュニティバス「さくら号」

地域協議会での協議が形となり、令和7年4月1日にコミュニティバス「さくら号」の運行が開始されました。移動手段に困っている人が通院・買い物に行けることを目的に運行し、バス停がなく、区内どこでも乗り降りができ、予約が要らないことが特徴です。2月末までに52の方が回数券を購入し、月平均利用件数は125件となっています。

参加者の反応や意見など

(意見交換会、参加者アンケートから)

- ・「予約が要らないのはすごくいい。登校用でも300円は少し高く感じる」
- ・「区内を巡回する便が充実するとよい」
- ・「運転手の対応がとてもよい」
- ・「子どもの習い事の送迎にも対応いただけると嬉しい」

■ 子どものい～場所開設事業

子どもたちの放課後の居場所を確保するために、地域独自の予算事業として実施しています。9月から月1回、公共施設で宿題・遊びなど子どもたちの自主性に任せた時間を過ごせる“い～場所”を提供しています。

令和7年度は、全校児童の4割が参加する状況になっています。

参加者の反応や意見など

(意見交換会、参加者アンケートから)

- ・「子どもが毎回楽しく参加している。ぜひ今後も継続してほしい」
- ・「送迎付きなので親も助かる。月2回の開設としたらどうか」
- ・「中学生にも居場所を！」
- ・「子どもが集まる場所とコミュニティバスが協働できると良い」

編集後記

～ 次世代につながる地域協議会 ～

中郷区地域協議会 会長 竹内 靖彦



今年度、新たに「い～住プロジェクト」を立ち上げ、これからの地域のあり方を共に考えていく大きな一歩が踏み出されたと感じております。若い世代の小さな声に皆様方から頂く大きな期待を共存させ、これからの世代に残せる地域づくりにつながるよう精を出していきたいと思っております。

まちづくりの原点は「人の思い」にあると思っております。地域に暮らす人々の声、未来を担う子どもたちへの願い、そしてこのまちを大切に思う心。その一つ一つを大切にしながら、理想の景色に近づけるよう努力したいと思っております。